



ICS2

フェーズ3： 海上および内陸水路でEU域内向けまたはEUを経由 する貨物を輸送するための業務調整



欧州連合の税関到着前安全保障システム「輸入管理システム2 (ICS2)」のフェーズ3は、2024年6月3日に稼働を開始します。

ICS2は、EUに持ち込まれるすべての貨物について、到着前にデータを収集するITシステムです。EU、北アイルランド、ノルウェー、スイス向け、またはこれらの国や地域を経由する特急貨物や郵便委託貨物を含む**海路および内陸水路での貨物の取り扱い、発送、輸送に携わる場合は**、新しいICS2要件に留意して、要件を満たすように必要な措置を講じる必要があります。これらの要件は、電子商取引ビジネスも対象となります。

変更点

端的に言うと、輸送される貨物に関する一連の必須かつ詳細な情報は、**完全なEntry Summary Declaration (ENS)**の形式でICS2システムに電子送信する必要があります。

各項目において必要な情報には、次のものが含まれます。



完全で正確な商業的
説明



HSの6桁の
商品コード



関係者のさらなる詳細情報
(例：販売者、購入者、最小単位の船荷証券
レベルの荷受人、荷送人)



EORI¹番号
(当事者のいずれかに割
り当てられた場合)

ENSデータ要件に準拠するために、ICS2では複数の申告が導入されています。

マスター船荷証券を発行する輸送業者は、発行元の乙仲業者（同等の郵便書類を発行する宅配業者または郵便事業者を含む）より、基礎となるすべてのハウス船荷証券から必要なデータを取得する必要があります。必要な情報には、最小単位のハウス船荷証券で荷受人が入手できる購入者と販売者のデータが含まれます。乙仲業者が必要なデータを共有しない場合は、マスター船荷証券に基づいて部分的なENSを提出し、申告書で乙仲業者のEORIを申告する必要があります。次に、乙仲業者はICS2へのハウスレベルのデータ申告の責任を負い、他のハウス船荷証券発行当事者からデータを取得するか、部分的なENS申告で提出しなければならない当事者の身元を申告する必要があります。

ストレート船荷証券を発行する輸送業者は、EU圏内に設立された荷受人から特定の商業データを追加入手する必要があります。荷受人が必要なデータを共有しない場合は、部分的なENSでそのEORIを申告する必要があり、荷受人はICS2システムへの部分的な申告に対して責任を負います。

ハウス船荷証券または同等のものを発行する乙仲業者、宅配業者または郵便事業者は、輸送業者（または乙仲業者、宅配業者もしくは郵便事業者が共同積載当事者である場合は、いわゆる「マスター乙仲業者」）をハウス船荷証券を発行した相手に通知する必要があります。必要なデータを輸送業者またはマスター乙仲業者と共有するか、最小単位のハウス船荷証券レベルに規定されているEUを拠点とする荷受人から取得する特定の商業データを含む、部分的なENSを自分でICS2に申告する必要があります。

荷受人への注意点：当事者間の契約上の取り決めによっては、購入者と販売者の情報を含む ENSを申告する必要がある場合があります。

¹ 事業者の登録と識別番号。

重要な日付:

期間限定の移行期間内にICS2への申告を開始するには、要請を行う必要があります。要請は、ICS2データの申告に使用されるEORI番号が登録されている加盟国を経由して行わなければなりません。

海上および内陸水路の輸送業者の移行期間:
2024年6月3日から2024年12月4日まで

海上および内陸水路のハウスレベルの申告者の移行期間:
2024年12月4日から2025年4月1日まで



準備方法

新しい要件を把握します。

- ▶ 欧州委員会のウェブサイトとFAQ
- ▶ 欧州委員会CIRCABC文書共有プラットフォーム

完全なENSデータセットを自分で ICS2に送信するかどうかを**決定**します。または、輸送業者として自身がマスターレベルのデータを送信し、クライアントが必要な部分的な情報を自社の責任の下で法的な期間内にICS2に送信するようにクライアントと契約を**手配**します。

いずれかのEU加盟国の税関当局からEORI番号を**取得**します。詳細情報については、**こちら**を参照してください。

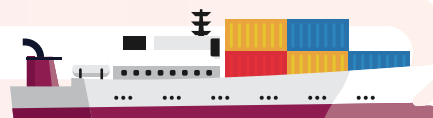
ICS2に直接接続できるように自社のITシステムを更新するか、ENS申告用のITサービスを提供するサービスプロバイダーと**契約**します。**従うべき手順についてガイダンスを入手するには、EORI番号が登録されている加盟国のナショナルサービスデスク**にお問い合わせください。技術準備の最初の手順を実施するには、**このファクトシート**を参照することもできます。

システム障害時の運用手順など、複数の申告や税関当局からの通知の受信に関するICS2要件に準拠するために必要な業務プロセスが整っていることを**確認**します。

最新のITシステムや業務プロセスを運用するために、自社のスタッフを**トレーニング**したり人材を配置します。

2023年12月11日の時点で必須の自己適合性試験を**実施**し、ICS2と技術メッセージを送受信するために自社のITシステムを使用できることを確認します。今後の手順については、**自己適合性試験機構の文書**を確認してください。

法的に規定された期間内にICS2に接続するために、EORI登録加盟国に移行期間を**要請**します。



準備が間に合わなかった場合

- ▶ 貨物はEUの国境税関で停止され、輸送の遅延が発生します。
- ▶ 税関当局は、疑わしい貨物を通関させません。
- ▶ 不適切な申告は拒否されるか介入の対象となり、違反には制裁が課される場合があります。



ICS2の最新情報をご確認ください
詳細はウェブサイトをご覧ください。ec.europa.eu/ICS2

